ホームページ閲覧用
※振込依頼書などが添付されていないので，出願を
考えている方々は募集要項冊子を入手してください。

2020年度

大学院教育学研究科高度教職実践専攻
（専門職学位課程）
【教職大学院】

学生募集要項

【現職教員・教育関係職員特別選抜】

第１回
- ●出願期間　2019年７月18日（木）～７月22日（月）
- ●試 験 日　2019年８月25日（日）
- ●合格発表　2019年９月11日（水）

第２回
- ●出願期間　2019年10月11日（金）～10月16日（水）
- ●試 験 日　2019年11月10日（日）
- ●合格発表　2019年11月28日（木）

【一般選抜】
- ●出願期間　2019年10月11日（金）～10月16日（水）
- ●試 験 日　2019年11月10日（日）
- ●合格発表　2019年11月28日（木）

2019年5月

千 葉 大 学

目　　次

1　入学定員及び募集人員 …… 1
2　選抜区分・出願資格 …… 1
3　［出願資格］(8), (9)の認定について …… 3
4　願書受付期間 …… 4
5　出願書類等 …… 4
6　選抜方法 …… 6
7　障害等のある入学志願者の事前相談 …… 7
8　合格者発表 …… 7
9　入学手続期間 …… 8
10　入学手続時に要する経費 …… 8
11　昼夜間開講について …… 9
12　長期履修学生制度について …… 9
13　大学院修学休業制度について …… 9
14　科目等履修生制度について …… 9
15　教育職員免許状の取得について …… 10
16　保育園について …… 10
17　通学について …… 10
18　教員免許更新講習の修了確認期限について …… 10
19　注意事項 …… 10

千葉大学大学院教育学研究科　専門職学位課程　高度教職実践専攻の概要 …… 11
1　高度教職実践専攻の教育目的と特徴 …… 11
2　教育課程編成の方針 …… 11
3　高度教職実践専攻　指導担当教員一覧 …… 13
4　修学の形態 …… 15
5　教員免許 …… 16

1　入学定員及び募集人員

専　攻　名	入学定員	募集人員		
		現職教員・教育関係職員特別選抜（第１回）	現職教員・教育関係職員特別選抜（第２回）	一般選抜
高度教職実践専攻	20名	15名	若干名	５名

・現職教員・教育関係職員特別選抜（第１回，第２回）の募集人員には，別途実施する任命権者等推薦付特別選抜（第１回，第２回）の募集人員を含みます。
・現職教員・教育関係職員特別選抜においては，第１回と第２回に分けてそれぞれ学生募集を行います。（第１回で受験して不合格になった場合でも第２回に出願することができます。）

2　選抜区分・出願資格

教育に関する職歴の有無などにより，＜現職教員・教育関係職員特別選抜＞及び＜一般選抜＞の２つの選抜区分があります。選抜区分ごとに内容が異なるので，自分がどの選抜区分で出願できるか，以下の記載を十分確認の上で，出願してください。

なお，本入学者選抜に合格した者のうち，出願資格を満たせなくなった場合は，合格を取り消すことがあります（学士の学位を得られない，教員免許状が取得できない等）。

＜現職教員・教育関係職員特別選抜＞

次のア又はイの条件に該当する者

ア．現職教員等

教員免許状（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・盲学校・聾学校・養護学校・特別支援学校のいずれか，または養護教諭の一種，二種免許状又は専修免許状）を有し，次の①又は②のいずれかに該当する者で，かつ，後述の［出願資格］(1)～(9)のいずれかを満たす者

① 出願時において学校教育法第１条に定める学校の専任教員(★1)（養護教諭含む）であり，2020年４月１日までに３年以上の専任教員（養護教諭含む）としての経歴を有する者で，入学後も継続して教員を続ける者

② 出願時において学校教育法第１条に定める学校の専任教員(★1)（養護教諭含む）であり，過去に５年以上専任教員（養護教諭含む）として勤務した者で，現在（入学時）は教員ではない者

〔★１〕 学校教育法第１条に定める学校は，幼稚園，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，中等教育学校，特別支援学校，大学（短期大学及び大学院含む）及び高等専門学校が該当します。なお，出願時において認定こども園で保育教諭（原則として幼稚園教諭免許状を所持していること）として専任で勤務している場合には，「学校教育法第１条に定める学校の専任教員」と同等であるとみなします。

イ．教育に関する職歴がある者（指導主事，教育行政・教育関連機関職員，学校事務職員，在外教育施設職員，少年院・児童自立支援施設の教育担当職員等）

次の①又は②のいずれかに該当し，かつ，後述の［出願資格］(1)～(9)のいずれかを満たす者

① 教員免許の所有の有無に関わらず，出願時において，教育委員会，教育事務所，教育行政機関の専任職員（行政職・教育職等）として，２年以上勤務した経験がある者

② 学校教育法施行規則第20条第一号に規定する「教育に関する職」(★2)について，５年以上の経験を有する者及び2020年３月31日までに該当見込みの者

〔★２〕「教育に関する職」の詳細は，学校教育法施行規則第20条第一号を確認してください。

＜一般選抜＞

教員免許状（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・盲学校・聾学校・養護学校・特別支援学校のいずれか，または養護教諭の一種免許状又は専修免許状）を有する者（2020年３月までに取得見込みの者を含む），かつ，後述の［出願資格］⑴～⑼のいずれかを満たす者

［出願資格］

⑴　大学（学校教育法第83条第１項に定める大学をいう。以下同じ。）を卒業した者及び2020年３月卒業見込みの者

⑵　学校教育法第104条第７項の規定により，学士の学位を授与された者及び2020年３月31日までに学士の学位を授与される見込みの者

⑶　外国において，学校教育における16年の課程を修了した者及び2020年３月までに修了見込みの者

⑷　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2020年３月31日までに修了見込みの者

⑸　我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2020年３月修了見込みの者

⑹　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記⑸の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者及び2020年３月までに授与される見込みの者

⑺　文部科学大臣の指定した者（昭和28年２月７日文部省告示第５号）

※⑻　2020年３月までに，大学に３年以上在学し，所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者

※⑼　本研究科において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，22歳に達した者及び2020年３月31日までに22歳に達する者

（※［出願資格］⑻・⑼については，３ページ「３［出願資格］⑻，⑼の認定について」を参照し，事前に教育学部入試担当に確認をしてください。）

★［出願資格］に関する説明

・　出願資格⑵は，主に「大学を卒業していないが，高等専門学校や短期大学の専攻科等を修了して所定の学習を修めたことにより，大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与されている者及び2020年３月までに授与される見込みの者」が該当します。なお，この出願資格により出願し，入学者選抜に合格した者のうち，諸事情により学士の学位を得られなくなった者は，その旨を速やかに文書で本研究科長宛に申し出てください。

・　出願資格⑹は，主に「外国において学校教育を受けたため，大学までの学校教育の課程が16年に満たないが，修了した大学等が修業年限３年以上の課程であり，学士に相当する学位を授与されている者及び2020年３月までに授与される見込みの者」が該当します。

・　出願資格⑺の文部科学大臣の指定した者には，主に「教育職員免許法（昭和24年法律第147号）による小学校，中学校，高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で22歳に達した者及び2020年３月31日までに22歳に達する者」や「旧国立養護教諭養成所設置法（昭和40年法律第16号）によ

る国立養護教諭養成所を卒業した者で，教育職員免許状による中学校教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者」が該当します。

3 ［出願資格］(8)，(9)の認定について

出願資格(1)～(7)のいずれにも該当しないため，出願資格(8)，(9)のいずれかにより出願を希望する場合には，所定の提出期間内で提出書類をそろえて個別の入学資格審査を申請してください。

本研究科の審査を経て出願資格を認定したら，「出願資格審査結果通知書」を交付するので，正規の出願手続きができるようになります。

(1) 提出期間

出願をする選抜	提　出　期　間
現職教員・教育関係職員特別選抜（第１回）	2019年７月１日（月）から７月２日（火）まで
現職教員・教育関係職員特別選抜（第２回）	2019年９月24日（火）から９月25日（水）まで
一般選抜	

受付時間は９時～17時。（郵送による場合は書留郵便で「大学院出願資格認定申請書在中」と朱書し，提出期間最終日の17時までに届くように送付してください。）

(2) 提出書類

① ［出願資格］(8)で出願する者

	提 出 書 類	摘　　要
1	入学試験出願資格認定申請書	本学所定の用紙に必要事項を記入して提出
2	成績証明書	出身大学長又は学部長等が作成した証明書を提出
3	推薦書	出身大学の学（部）長が作成したものを提出（様式は任意）
4	出身大学（学部）履修規程	卒業に必要な授業科目・単位数を明記したもの

② ［出願資格］(9)で出願する者

	提 出 書 類	摘　　要
1	入学試験出願資格認定申請書	本学所定の用紙に必要事項を記入して提出
2	最終学校の卒業・修了（見込）証明書	出身大学長又は学部長等が作成した証明書を提出
3	最終学校の成績証明書	出身大学長又は学部長等が作成した証明書を提出
4	学習歴及び実務経験等に関する調書	本学所定の用紙に必要事項を記入して，実務経験歴を証明する在職証明書等を添付の上で提出
5	履歴書（外国人のみ）	本学所定の用紙に必要事項を記入して提出

(3) 提出先

千葉大学教育学部入試担当（教育学部１号館１階）

〒263-8522　千葉市稲毛区弥生町１番33号

(4) 認定の結果は，本人宛に通知します。

4　願書受付期間

選　抜	願書受付期間
現職教員・教育関係職員特別選抜（第１回）	**2019年７月18日（木）から７月22日（月）まで** ・郵送の場合：簡易書留郵便で，各自で用意いただいた封筒に出願書類を同封して封筒の表に「大学院願書在中」と朱書きして，７月22日（月）17時までに届くように送付してください。 ・持参の場合：受付期間中の９時から17時に，千葉大学教育学部入試担当に提出してください。 ただし土曜日，日曜日は受け付けません。
現職教員・教育関係職員特別選抜（第２回） 一般選抜	**2019年10月11日（金）から10月16日（水）まで** ・郵送の場合：簡易書留郵便で，各自で用意いただいた封筒に出願書類を同封して，封筒の表に「大学院願書在中」と朱書きして，10月16日（水）17時までに届くように送付してください。 ・持参の場合：受付期間中の９時から17時に，千葉大学教育学部入試担当に提出してください。 ただし土曜日，日曜日，祝日は受け付けません。

送付・提出先　　千葉大学教育学部入試担当（教育学部１号館１階）

〒263-8522　千葉市稲毛区弥生町１番33号

（注）入学者選抜の過程で収集した個人情報は，入学者選抜の実施のほか，管理運営業務，修学指導業務，入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。

5　出願書類等

出願に当たっては，次表の書類を揃えて願書受付期間内に持参又は郵送にて提出してください。

入学検定料については，出願前に本学所定の振込依頼書を使用し，銀行等（**ゆうちょ銀行は除く**）の窓口にて検定料30,000円を振り込んでください。振込方法は電信扱い，振込手数料は本人負担となります。

なお，**ATM（現金自動預払機）は使用できません**。注意：国費外国人留学生の場合は，検定料は不要です。

いったん納入した検定料は原則として返還しませんが，検定料を誤って振り込み，出願しなかった者が2020年３月31日（火）までに所定の返還手続を行った場合は，検定料の全額を返還します。返還手続の詳細については，教育学部入試担当に確認してください。

	出願書類等	該　当　者	摘　　要
1	入学願書及び受験票	全員	本学所定の用紙に必要事項を記入して，写真（大きさ縦４㎝×横３㎝，上半身，正面，脱帽で最近３か月以内撮影のもの）を入学願書並びに受験票に１枚ずつ貼り付けてください。 また，検定料を銀行等で納入した際に受領した**振込証明書「貼付用（大学提出用）」**を裏面に貼り付けて提出してください。 ※国費外国人留学生の場合，入学検定料振込証明書の貼付は不要です。願書裏面の振込依頼書「貼付用（大学提出用）」貼り付け欄の該当事項にチェックをして提出ください。

	出願書類等		該当者	摘要
2	成績証明書		全員	出身大学等の長が作成した証明書を提出してください。（和文・英文以外の証明書には，和訳を添付すること。）
3	卒業証明書又は 卒業見込証明書		［出願資格］(1)及び(3)～(7)で出願する者	出身大学長又は学部長等が作成した証明書を提出してください。 ※和文・英文以外の証明書には，和訳を添付すること ※出願資格(6)で出願する場合には，外国の大学その他の外国の学校の課程を修了した際に学士の学位に相当する学位を授与されていることが卒業（見込）証明書に記載されていること
4	学位授与証明書又は学位授与の申請を受理した旨の証明書		出願資格(2)に該当する資格で出願する者	大学改革支援・学位授与機構が作成した証明書を提出してください。なお，出願時点で学位授与の申請が受理される前の場合には，出身短期大学長又は高等専門学校などが作成する学位授与を申請する旨の証明書を提出してください。
5	専攻科修了証明書又は専攻科修了見込証明書		出願資格(2)に該当する資格で出願する者	短期大学長又は高等専門学校長が作成した専攻科の修了（見込）証明書を提出してください。
6	志望理由書		全員	本学所定の用紙に入学を志望する理由等を記入して提出してください。
7	教育職員免許状の授与又は授与見込みを証明する書類		全員。ただし，＜現職教員・教育関係職員特別選抜＞で出願する者のうち教育職員免許状を有しない者は除く。	次のいずれかを提出してください。 ・教育職員免許状授与証明書（免許状を授与した都道府県教育委員会が作成したもの） ・教育職員免許状の写し（原本と相違ない旨の所属長又は所轄長の証明が必要） ・2020年３月までに教育職員免許状を取得見込みの者は大学等で交付する取得見込みを証明する書類
8	在職証明書		＜現職教員・教育関係職員特別選抜＞で出願する者	所属長が作成した証明書を提出してください。 ※志願者の氏名，現在勤務している学校等における在職期間並びに職名（教諭等）を記載して公印が押されたもの，それ以外の書式は自由です。
9	戸籍抄本		提出する証明書等と現在で氏名が異なる者	
10	実践研究計画書		全員	本学所定の用紙に入学後に研究したい内容等を記入して提出してください。
11	教育実践・研究の実績	一覧	全員	本学所定の用紙に必要事項を記入して提出してください。
		現物	提出可能な者	一覧に記載した業績のうち１点のみ（紙媒体に限る）。提出された資料は原則として返却しないので，コピーの提出も可。連名の業績でも可
12	受験票返送用封筒		全員	この要項の末尾に綴じ込んである封筒に切手92円を貼付し，郵便番号，住所，氏名を記入してください。

	出願書類等	該当者	摘要
13	宛名シール	全員	郵便番号，住所，氏名等必要事項を記入してください。
14	外国人用履歴書	外国人	本学所定の用紙にこれまでの学校教育期間の詳細等を記入してください。
15	住民票の写し	外国人	本人在住の市区町村発行のもの（在留資格及び在留期間が掲載されており，かつ個人番号（マイナンバー）が記載されていないもの）。 ※「住民票の写し」は市区町村役場で発行されるもので，ご自分でコピーしたものではありません。住民登録をしていない場合は，パスポートのコピーを提出してください。（本人の氏名，生年月日，性別，在留資格を表示する部分，及び，日本国査証の部分）

注意

- **証明書類は，全て原本が基本です。複写，ファックスや公式でない印刷物は受理できません。**
  また一度受理した申請書類は返却いたしません。再発行されない原本を提出する場合，出願前に教育学部入試担当に必ず相談してください。（出願資格確認のため，上記以外の書類を提出していただくことがあります。）
- 入学願書等に虚偽の記載をした者は，入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- 出願資格認定の際に成績証明書，卒業証明書，履歴書などを提出している場合は，その書類は再度提出する必要はありません。
- 入学後，現職教員等に対しては，教育方法の特例措置があります。また，職業を有する者等に対しては，長期履修学生制度があります。詳しくは，９ページ「**11 昼夜間開講について**」，「**12 長期履修学生制度について**」を参照してください。
- 入学者選抜の過程で収集した個人情報は入学者選抜の実施のほか，管理運営業務，修学指導業務，入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。

6　選抜方法

入学者の選抜は，学力検査の結果並びに提出された書類を総合して行います。

⑴　学力検査試験科目，試験日時

選抜	試験日時	試験科目	備考
現職教員・教育関係職員特別選抜（第１回）	2019年８月25日（日） ９：00～17：00（予定）	口述試験	提出書類並びに実践研究計画書に基づいて行う。
現職教員・教育関係職員特別選抜（第２回）	2019年11月10日（日） 12：00～17：00（予定）	口述試験	提出書類並びに実践研究計画書に基づいて行う。
一般選抜	2019年11月10日（日） ９：00～10：30	筆記試験	教職，教育実践に関する問題から出題する。（英語問題を含む。（辞書持ち込み可））〔注〕
	2019年11月10日（日） 12：00～17：00（予定）	口述試験	提出書類並びに実践研究計画書に基づいて行う。

〔注〕持込可能な辞書は，書籍の形をとったものに限ります。日本人も外国人留学生も英和辞書１冊のみ（和英辞書と合冊になっているものは不可）となります。

⑵　試験場

千葉大学教育学部校舎で行います。なお，試験当日は必ず受験票等を持参してください。

（受験に関する注意事項等の詳細については，受験票送付の際に同封いたします。）

7　障害等のある入学志願者の事前相談

本研究科に出願を希望する者で，障害等があり，受験上又は修学上特別な配慮を必要とする者等は，出願に先立ち，あらかじめ本研究科に事前相談の申請を行ってください。

なお，出願後の不慮の事故等による負傷で，受験上又は修学上特別な配慮が必要になった者についても，速やかに事前相談を行ってください。

⑴　申請方法

申請する場合は，次の①及び②を⑶あてに提出してください。提出された書類に基づき，本研究科関係者で検討を行います。

①　事前相談申請書（本研究科所定の用紙）

申請書の入手方法は，教育学部１号館１階事務室の窓口で直接受け取るか，郵送により入手してください。郵送により入手する場合は，「事前相談申請用紙請求」と朱書した封筒に92円分の郵便切手を貼った返信用封筒（長型３号：約12×23.5㎝，表面に郵便番号，住所，氏名を明記してください。）を同封し，⑶あてに送付してください。

②　医師の診断書（障害の程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの）

⑵　事前相談の締切日

選　抜	締 切 日
現職教員・教育関係職員特別選抜（第１回）	2019年７月１日（月）まで
現職教員・教育関係職員特別選抜（第２回）	2019年９月25日（水）まで
一般選抜	

相談の内容によっては，対応に時間を要することもありますので，できるだけ早い時期に相談してください。

⑶　書類提出先・問い合わせ先

千葉大学教育学部入試担当（教育学部１号館１階）

〒263-8522　千葉市稲毛区弥生町１番33号　電話：０４３－２９０－２５１５

8　合格者発表

選　抜	合 格 発 表 日 時
現職教員・教育関係職員特別選抜（第１回）	2019年９月11日（水）14時 ※９月17日（火）まで掲示します。
現職教員・教育関係職員特別選抜（第２回）	2019年11月28日（木）14時 ※12月２日（月）まで掲示します。
一般選抜	

教育学部掲示板に掲示し，合格者には合格通知書を宛名シールに記載した受信場所に簡易書留で郵送します。（電話による照会には一切応じません）。

千葉大学教育学部ホームページ（URL：https://www.education.chiba-u.jp/）にも掲載します。
●掲載期間　現職教員・教育関係職員特別選抜（第１回）：
2019年９月11日（水）15時（予定）～９月17日（火）15時
現職教員・教育関係職員特別選抜（第２回），一般選抜：
2019年11月28日（木）15時（予定）～12月２日（月）15時

９　入学手続期間

選　抜	入学手続期間
現職教員・教育関係職員特別選抜（第１回）	2020年３月26日（木）及び27日（金）
現職教員・教育関係職員特別選抜（第２回）	
一般選抜	

入学者選抜の合格者は上記の期日に本学へ直接出向いて入学手続を行ってください。やむを得ない事情により来学できない場合には，千葉大学教育学部入試担当に連絡をし，その指示に従ってください。

なお，上記の期日で入学手続を行わないと入学を辞退したものとなりますので注意してください。

また，入学手続当日は入学手続に必要となる書類のほか，受験票，認印を持参してください。（入学手続に必要となる書類など入学手続の詳細については合格者に2020年３月上旬頃までに郵送にてお知らせいたします。）

※卒業見込で出願した者は，卒業証明書を提出してください。

10　入学手続時に要する経費

⑴　入学料　282,000円（予定）

・入学料の納入については，入学手続時に納入願います。

・授業料は前期分・後期分授業料はそれぞれ267,900円（年額535,800円）（予定）です。

なお，授業料の納入については，入学後の前期分授業料は５月に，後期分授業料は10月に口座引落しにより納入願います。口座引落手続等についての詳細は入学手続の際に改めてお知らせします。

また，次年度以降，前期分授業料は４月が口座引落しの月となります。

・入学料及び授業料等の改定が行われた場合には，改定時から新入学料及び新授業料等が適用されます。なお，2020年４月入学者から，授業料の改定を検討しております。改定する場合には，７月頃までに千葉大学ホームページ等でお知らせします。

⑵　入学料及び授業料が免除される制度があります。詳細は，千葉大学ホームページをご覧ください。
http://www.chiba-u.jp/campus-life/payment/exemption.html
入学料及び授業料免除に関する問い合わせ先：学務部学生支援課　電話：０４３－２９０－２１７８

⑶　学生保健互助会費　4,000円（２年分）
全員加入（郵便局又はゆうちょ銀行で払込）
疾病負傷の際に相互に救済し，進んで健康保持に寄与することを目的としております。
詳細は，学生保健互助会へお問い合わせください。
電話：０４３－２９０－２２２０　　Ｅメール：def2219@office.chiba-u.jp

⑷　学生教育研究災害傷害保険料　2,430円（２年分・付帯賠償責任保険を含む）
全員加入（郵便局又はゆうちょ銀行で払込）
正課中，学校行事中，課外活動中，通学中における傷害事故に対して補償するものです。また，他人

にケガをさせたり，他人の財物を損壊した場合の補償も含まれます。保険料の改定が行われた場合には，改定時から新保険料が適用されます。

詳細は，学務部学生支援課へお問い合わせください。

電話：０４３－２９０－２１６２　　Eメール：ddc2162@office.chiba-u.jp

11　昼夜間開講について

本研究科では，「教育方法の特例」として，大学院設置基準第14条「夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる」を適用することにより，現職教員等が高度の専門的教育を受ける機会を拡大して提供しています。

平日の授業は昼夜間開講ですが，さらに土曜日や短期間で行われる集中講義なども利用して履修を進めることができます。これによって，働きながら通学する場合，１年間は昼間履修でもう１年間は夜間履修，２年間とも夜間履修といった多様な修学形態が原則として可能になります。

また，一定の条件を満たす現職教員等の学生は「短期履修（１年)」をすることができます。

12　長期履修学生制度について

大学院設置基準第15条は，長期にわたる教育課程の履修を認めることができるとしています。本研究科ではこれを受けて，長期履修学生制度を設けています。長期履修学生制度は，職業を有している等の事情で，通常の学生よりも１年間に修得可能な単位数や研究指導を受ける時間が制約され，本研究科の標準修業年限の２年間を超えた在学をしなければ課程を修了することができない者を対象とします。そうした事情にある者は，標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程の修了を希望する旨を申請することができます。申請に基づき，研究科が審査し，標準修業年限を超えた在学期間をあらかじめ認めます。

長期履修学生として認められた場合，授業料年額は，通常の学生が標準修業年限に支払う授業料の総額を，長期在学期間として認められた期間の年数で均分して支払うことになります。

申請の仕方，申請の時期等についての説明文書を入学手続関係書類に同封する予定です。詳しくはそちらをご覧ください。

13　大学院修学休業制度について

「大学院修学休業に関する制度」などの制度を利用すると，教職を持ちながら大学院での修学が可能になります。千葉県の場合，制度を利用すると３年を超えない範囲内で休業が認められます。

また自治体によっては，このほかにも大学院での修学をサポートする制度がある場合があります。条件や申請方法に関する詳しい情報はそれぞれの教育委員会にお問い合わせください。

14　科目等履修生制度について

大学院在学中に教育学部の科目等履修生となる場合は，入学料および授業料等が免除され，年間履修単位の上限（半期６単位（年間12単位））はありますが，教育学部で開講する授業科目の履修が可能です。(学部の授業は昼間開講のみとなります。)

なお，教員免許状取得のために科目等履修生となる場合は，教育学部開講の教員免許状取得に必要な科目を履修することができます。ただし，大学院の授業履修が優先され，また年間履修単位の上限（年間20単位）も定められていますので，十分に留意してください。

15　教育職員免許状の取得について

本研究科を修了すれば自動的に教員免許状（専修免許状）が取得できるわけではありません。教員免許状の種類に応じた科目を履修することにより教員免許状（専修免許状）の取得が可能です。

なお，二種免許状のみ所持の者は，教員免許状（専修免許状）は取得できません。また，本研究科修了により一種免許状を取得することもできません。ただし，大学院在学中に別に科目等履修生になり，不足単位分を履修し，一種免許状を取得する方法もあります。不足単位が多い場合は，在学中２年間では取得困難な場合もあります。大学院在学中に一種免許状授与の所要資格を満たした場合は，修了時に教員免許状（専修免許状）の取得が可能です。

16　保育園について

西千葉地区に学生も利用できる保育園があり，利用者が定員を満たしていない場合に限り申込みができます。詳細は，学務部学生支援課にお問い合わせください。

電話：０４３－２９０－２１７８

17　通学について

本学の西千葉地区では，構内歩行者の安全を期すため車両の入構規制を実施しており，自動車・自動二輪（原付を含む）による通学は全面的に禁止しています。ただし，身体に障害がある等，特殊事情のある方は入学後に教育学部学生支援担当へご相談ください。また，自転車での通学には「入構許可ステッカー」（800円／年）が必要となります。

18　教員免許更新講習の修了確認期限について

専修免許状の取得を目的として本研究科に在学している場合は，申請により教員免許更新講習の有効期間（修了確認期限）を延期することが可能です。

申請方法等の詳細については，各都道府県教育委員会のホームページ等でご確認ください。

19　注意事項

⑴　試験日前日の９時（予定）より注意事項を教育学部掲示板に掲示します。

⑵　出願手続後は，書類の返却及び記載事項の変更は認めません。

⑶　納入した検定料は返還しません。

なお，不明な点があれば，下記にお問い合わせください。

出願書類提出先・お問い合わせ

千葉大学教育学部入試担当
（教育学部１号館１階）

〒263-8522　千葉市稲毛区弥生町１－33

電話　０４３−２９０−２５１５

Ｅメール　hai2514@office.chiba-u.jp

千葉大学大学院教育学研究科　専門職学位課程　高度教職実践専攻の概要

1　高度教職実践専攻の教育目的と特徴

今日の学校には，少子化，グローバル化，情報通信技術の進展など，社会の急激な変化に伴う教育課題への対応とともに，特別なニーズをもつ児童生徒への対応や家庭の教育力の低下，貧困等，現場での複雑化する諸課題への対応が必要となっています。

このような状況の中で，教員には知識・技能の絶えざる刷新が求められています。社会の状況の変化に伴う課題を幅広い視点からとらえ対応ができる実践的指導力やそのような課題に対して学校（教師集団）が機能的・効果的に活動できるようなマネジメント力が必要とされています。

本専攻では，学部段階の資質能力を習得した者の中から，さらにより実践的な指導力・展開力を備え，新しい学校づくりの有力な一員となりうる新人教員の養成や，リーダーとしての意欲や適性を有する教員に対して，学校経営や生徒指導等の高度な専門的知識を体系的に学び，リーダーとして活躍できる教員を養成することを目的としています。

2　教育課程編成の方針

教育学研究科高度教職実践専攻では，以下のような教育課程編成の方針を設けています。

⑴　教育課程編成の基本的な考え方

教育課程は以下のように編成されています。

科目区分	単位数	備　　考
共　通　科　目	20	教師としての総合力を高める５領域（①教育課程の編成・実施に関する領域，②教科等の実践的な指導方法に関する領域，③生徒指導，教育相談に関する領域，④学級経営，学校経営に関する領域，⑤学校教育と教員の在り方に関する領域）から修得。
分　野　別　科　目	4	スクールマネジメント，学校教育臨床のいずれかのゼミ及び事例研究により，個別の問題意識に即した専門性を高める。
現代的教育課題科目	7	現代の多様な教育課題に対する理解や対応策を学び，柔軟で幅広い実践力，対応力を養う。
実践研究指導科目	4	学生が一同に会し，討議，発表等を交えながら，実践研究の理論と方法を学び，各自の実践へと反映させる。 実践研究報告書を含む。
実　習　科　目	10	大学教員（研究者教員，実務家教員）の指導のもと，各自の問題意識に即した課題解決・目標達成を目指す実践を行う。（現職教員は代替的課題の履修により一部免除可。）
計	45	

高度教職実践専攻は，学校運営・管理上の諸問題，児童生徒の不適応行動にかかわる教育相談・カウンセリングなどの学校実践領域における先鋭的な問題を取り扱う内容（分野別科目：スクールマネジメント分野，学校教育臨床分野）を設け，個々の学生のニーズに応じ，それぞれの領域についての専門性を身につけたミドルリーダーを養成します。

スクールマネジメント分野と学校教育臨床分野では，以下のような教員の養成を目指しています。

＜スクールマネジメント分野＞

学級経営・学校経営に関する優れた知見と技能を身につけ，学内外でのリーダー的な役割を果たすことができる教職員，学校の仕組みを制度や予算面から理解するとともに，地域と協働して学校経営に当たる実践的能力を身につけた教職員の養成を目指します。

現職教員等の学生に対しては，個々の能力，経験を踏まえた高いレベルの教育内容により，修了後は教育行政及び学校のミドルリーダーとして活躍できる人材を養成します。

学部新卒者については，チームとして組織的に諸課題に取り組むことができる「チーム学校」の有力な一員となる教職員を養成します。

＜学校教育臨床分野＞

生徒指導・進路指導上の諸課題に組織として対応する体制の中核を担う教員，様々な問題行動や不適応行動に対して，その深い理解と対処方法を知り，問題解決に当たることができる教員の養成を目指します。

現職教員等の学生に対しては，地域や学校での生徒指導のリーダー的な役割を果たせる，より高度な知識や技術の習得を，学部新卒者には学校現場での事例研究や現職教員等の学生との交流・学び合いを通して，修了後に生徒指導上の課題に対して現場で即戦力となりうる実践力の習得を求めます。

⑵　教育内容・方法上の特色

①　学校・地域の課題へ取り組む実践研究

すべての学生が大学教員（研究者教員・実務家教員）の指導のもと，学校・地域（市・県・NPO等）と連携して協働的実践研究を行います。個々の学生の関心のある教育課題について，実践研究指導科目及び実習科目を通して，実践研究を行い報告書としてまとめます。個々の関心，課題に応じて，学校での実践のほか，関連機関（教育相談機関，児童福祉施設，教育委員会等）での実習も可能です。

②　実践をコアとした協働的学び

少人数教育を重視し，実務家教員と研究者教員との共同授業を基本とすることで，理論と実践の往還による実践的指導力の養成を目指します。実践的科目をコアとし，教員としての総合力を高める共通科目，現代的課題科目による理論との協働的な学びを深めます。

③　多様な選択肢が選べる履修形態

標準修学年限は２年ですが，現職教員等の学生は，長期履修学生制度により３年以上最長６年を修了年限とすることができます。また，一定の条件を満たす現職教員等の学生は，「短縮履修（１年）」をすることができます。

授業は，昼夜間開講とし，土曜の開講や学校の長期休業中の集中講義などの多様な履修形態を準備し，学部新卒者，現職教員等の学生ともに，ライフスタイルや就学ニーズに応じた履修形態を選択できるようにしています。

④　学校の国際化に対応できる人材の育成

日本に住む外国籍の児童生徒に対する指導法を学ぶプログラムとして，グローバル対応リーダープログラムを設けています。

3　高度教職実践専攻　指導担当教員一覧

氏　名	役職	専　門　分　野
主　な　研　究　課　題		
天　笠　　茂	特任教授	学校経営学
学校の組織特性について究明をめざすとともに，教職員それぞれによる集合体としての学校から，協働によって成り立つ組織体としての学校への道筋をカリュキュラムをめぐるマネジメントに関する実践事例をもとに探る。		
片　岡　洋　子	教　　授	教育学
子ども虐待，ドメスティック・バイオレンス，いじめなど，家庭や学校で親子・友人等の親しい間柄でおこる暴力を予防するための幼児期からの教育について，ジェンダーと人権の観点に生活綴り方の思想を重ねて研究している。		
真　田　清　貴	教　　授	学校・学級経営
①校長・教頭のリーダーシップのあり方，②新しい教育委員会制度における学校経営の課題，③指導力不足教員に対する指導や支援の方法についての調査研究		
樽　木　靖　夫	教　　授	学校心理学，社会心理学
①学校行事の意味・効果および教師の援助的介入に関する研究 ②自己形成を促進する教育・学習プログラムの開発およびその効果に関する研究		
保　坂　　亨	教　　授	教育相談
①小中学校の長期欠席（不登校），高校中退の実態調査とその分析，②児童虐待の心理社会的分析，③思春期の心理発達，特に仲間関係の発達，④教員のメンタルヘルスに関する実態調査及び事例研究		
土　田　雄　一	教　　授	国際理解，道徳教育
「内なる国際化」をテーマに，外国にルーツをもつ子どもたちの適応指導や学習指導の在り方だけでなく，道徳を中心とした心の教育についての実践的研究をしている。多面的多角的思考力を育て，「考え，議論する」道徳授業の実践研究，資料や指導方法開発等の研究をしている。		
貞　廣　斎　子	教　　授	教育行財政学
内外の教育政策および教育財政システムの定量的・定性的分析・評価や，新規政策結果のシミュレーション分析，政策立案支援手法開発を行う。特に学校再配置，学校規模，教育費の公私負担問題などを対象としている。		
笠　井　孝　久	准 教 授	教育相談，臨床心理学
子どもの様々な行動がどのような心理的機序によって成立しているのか，発達的，環境的要因などから解明しようと試みている。また，それらをもとに問題となる行動に対する支援のあり方を考えていく。		

氏　名	役職	専　門　分　野
主　な　研　究　課　題		
磯　邉　　聡	准 教 授	臨床心理学
教育臨床をめぐる様々な問題に対する臨床心理学的アプローチの探求と実践，効果的な教育相談・生徒指導・特別支援のありかたの追求，心理臨床の探求および実践。		
伊　藤　英　希	准 教 授	学習指導，学級経営
①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を進めるための，指導方法と評価方法の工夫及び，協同的な学習に関する研究。②規範意識の向上と好ましい人間関係を重視した学級づくりに関する研究。		
吉　田　　浩	准 教 授	生徒指導・進路指導
いじめ，不登校，暴力行為，自殺など，児童生徒を取り巻く生徒指導上の諸課題への対応や未然防止に関する研究及び，中学校を対象とした進路指導の現状と課題についての研究。		
三　宅　健　次	講　　師	教育工学
１人１台タブレット端末導入における教育的効果と課題等，教育現場におけるICTの効果的な活用及びその課題について追求している。また，情報社会の現状を踏まえた，初等中等教育における情報モラル教育の在り方について研究している。		
入　澤　里　子	講　　師	保育内容学
幼稚園での保育の中で，主体的・対話的で深い学びを念頭に置いた子供理解，教師の援助，保育環境の構成を探求する実践的研究を行っている。		

4　修学の形態

⑴　標準修業年限２年

⑵　実践研究報告書

専攻の分野の中から課題を選び，指導教員のもとで実践研究報告書を作成します。

⑶　学　位

千葉大学大学院教育学研究科専門職学位課程に２年以上在学し（一定の条件を満たす現職教員等の学生は「短期履修（１年)」をすることができます。)，45単位以上を修得し，実践研究報告書の審査に合格した者には，専門職修士の学位を授与します。

⑷　授業時間

授業時間割

１時限　８：50～10：20　　２時限　10：30～12：00　　３時限　12：50～14：20

４時限　14：30～16：00　　５時限　16：10～17：40　　６時限　18：00～19：30

７時限　19：40～21：10

⑸　単位履修の方法

次の基準によって履修します。

履修基準

本専攻を修了するためには，下表の基準により所定の単位を修得する他，実践研究報告書の審査に合格することが必要となります。なお，修了のための履修基準と教育職員免許状取得のための必要単位数は異なります。

科目区分	最低修得単位数
共　通　科　目	20
分　野　別　科　目	4
現代的教育課題科目	7
実践研究指導科目	4
実　習　科　目	10
計	45

5　教員免許

本専攻において取得できる教員免許状は，次のとおりです。ただし，当該一種免許状を有していなければ取得できません。

取得できる免許状の種類
小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 （国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，保健，技術，家庭，英語） 高等学校教諭専修免許状 （国語，地理歴史，公民，数学，理科，音楽，美術，工芸，書道，保健体育，保健，家庭，情報，工業，英語） 幼稚園教諭専修免許状 養護教諭専修免許状

教員免許状の種類	基礎資格	最低修得単位	教育職員免許法規定区分
小学校教諭専修免許状	教職修士（専門職）の学位及び小学校教諭一種免許状を有すること	24	大学が独自に設定する科目
中学校教諭専修免許状	教職修士（専門職）の学位及び中学校教諭一種免許状（取得を希望する免許教科の一種免許状）を有すること	24	大学が独自に設定する科目
高等学校教諭専修免許状	教職修士（専門職）の学位及び高等学校教諭一種免許状（取得を希望する免許教科の一種免許状）を有すること	24	大学が独自に設定する科目
幼稚園教諭専修免許状	教職修士（専門職）の学位及び幼稚園教諭一種免許状を有すること	24	大学が独自に設定する科目
養護教諭専修免許状	教職修士（専門職）の学位及び養護教諭一種免許状を有すること	24	大学が独自に設定する科目

（例）中学校教諭専修免許状（国語）を取得する場合に必要となる要件
① 中学校教諭一種免許状（国語）を有していること
② 中学校教諭専修免許状（国語）に使用できる授業科目を24単位分修得すること
③ 本研究科を修了すること（教職修士（専門職）の学位を有すること）

2020年度千葉大学大学院教育学研究科（専門職学位課程）入学願書

フリガナ 氏　　名 生年月日	西暦　　年　　月　　日生（　　才）	1．男 2．女	受験番号	※
本籍地 （外国人は国籍）		現住所	〒 Mail　（　　） TEL　（　　） 携帯等（　　）	
専　　攻	高度教職実践専攻	指導希望教員氏名 ［pp.13～14の指導担当教員一覧の中からお選びください。］	第一希望教員（必須）	第二希望教員
選抜区分 出願資格 （pp.1～2参照）	選抜区分	1．一般選抜 2．現職教員・教育関係職員特別選抜（　ア①　・　ア②　・　イ①　・　イ②　） ［出願する選抜区分の1または2に○をつけ，2．で出願する方は該当するア①～イ②にも○をつけてください（p.1～2参照）。］		
	出願資格	（　　） ［（　　）内に，ご自分の該当する［出願資格］（p.2参照）の（　）内の数字を記入してください。］		
卒業（見込）大学名	（国立・公立・私立・外国）　　大学　　学部 学科・課程 西暦　　年　　月　　日　（1．卒業　2．卒業見込み）			
勤務先・職種等	勤務先名		職種	
	勤務先住所 〒 電話　　―　　―			
専任教員経験年数	［今年度末時点の年月数を記入し，1～3のいずれかに○。非常勤・臨時の年数は含みません。］ 年　　ヶ月（1．入学後も勤務　2．今年度中に退職　3．現在は教員ではない）			
所有（見込）教員免許状	［校種，区分，教科までご記入ください。また，今年度中に取得見込みの場合は（見込）と記載してください。記入例：中学校一種数学（見込）］			
教育に関する職歴 （〈現職教員・教育関係職員特別選抜〉イの方のみ記入）	勤務先名			
	職　　種			
	勤務年月	年　　ヶ月	年　　ヶ月	
本人以外の連絡先	氏　　名　　（続柄　　）			
	〒 電話　　―　　―			
合格通知書受信場所	〒 注：現住所と同じ場合は「現住所と同じ」と記入　　電話　　―　　―			

写真貼付欄
1．写真縦4cm　横3cm
2．受験票に貼付のものと同じものを貼付
3．全面に糊付けすること

注意・指導希望教員氏名欄への記載は，入学後の指導教員を確定するものではありません。
・※のある欄には何も記入しないでください。

切り離さないこと

2020年度千葉大学大学院教育学研究科（専門職学位課程）受験票

フリガナ 氏　　名		受験番号	※
選抜区分	1．一般選択　　2．現職教員・教育関係職員特別選抜		

写真貼付欄
1．写真縦4cm　横3cm
2．入学願書に貼付のものと同じものを貼付
3．全面に糊付けすること

履　　歴

	事　　項	
学歴	年　月　日	高等学校　卒業
	年　月　日	
	年　月　日	
	年　月　日	
	年　月　日	
職歴	年　月　日	
	年　月　日	
	年　月　日	
	年　月　日	
	年　月　日	
	年　月　日	
	年　月　日	

（注）1．履歴事項（学歴･職歴等）は漏れなく記入してください。また職歴欄では教員として勤務した場合，その職名（教諭等）もできるだけ記入してください。
2．学歴は高等学校卒業から記入してください。
3．外国語で記入する場合，または記載欄が不足する場合は本様式に沿ってA4判の用紙を使用し，入学願書に添付してください。

振込証明書「貼付用（大学提出用）」貼り付け欄

○出納印のある振込証明書を貼り付けてください。

○はがれないようにしっかりと全面のり付けしてください。

□国費外国人留学生の場合，検定料の振込は不要となるので，左記（□）にチェックしてください。

志　望　理　由　書

志望専攻	高度教職実践専攻	氏　　名		受験番号	※

記入上の注意

1　900字以内で記入してください。なお，黒又は青ボールペンを使用して記入するか，WORD等で作成して印字した用紙を貼付又は添付してください。

2　※印欄は記入しないでください。

実 践 研 究 計 画 書

氏　　名		受験番号	※

研究主題
研究内容（600字以内で記入してください。）
研究の計画（900字以内で記入してください。）

（裏に続く）

記入上の注意

1　「研究主題」及び「研究内容」の欄には，どのようなことを課題としてとらえ，それについてどのような実践をしたいと考えているかを，できるだけ具体的に記入してください。

2　「研究の計画」の欄には，入学後，学習や研究を進めるにあたってのおおよそのスケジュールを記入してください。1年目の前期，後期，というような日程，あるいは研究の進め方など，現在の段階における心づもりを記すだけでかまいません。

3　※印欄は記入しないこと。

4　黒又は青ボールペンを使用して記入するか，WORD等で作成して印字した用紙を貼付又は添付してください。

教育実践・研究の実績の一覧

氏　　名		受験番号	※

番号	題　　目	発表の 年　月	発表場所 （巻，号，ページ，会場等）	概要（100字以内で記入してください。）
1				
2				
3				
4				
5				

1　「教育実践・研究の実績」とは，これまでに発表した実践報告（個人及び共同のもの，また発表の場などは問いません。），授業研究の資料（謄写印刷のものも可），著書，研究論文，卒業論文または作品（音楽，美術，文学など）または出演，発表の記録を意味します。
〈一般選抜〉出願者のうち卒業見込みの者は，予定している卒業論文または卒業研究などの「題目」とその「概要」を記入してください。

2　提出する教育・研究業績（１点のみ）がある場合は，該当するものの番号を○で囲んでください。

3　教育実践・研究の実績が５つ以上ある場合には，本様式に沿ってWORD等で作成して添付してください。

4　※欄には記入しないこと。

外国人用履歴書
Curriculum Vitae

氏名	自国語 フリガナ ローマ字	Family Name First Name Middle Name Family Name First Name Middle Name	男(M)・女(F) Sex	生年月日 Date of birth	19 年 月 日	年齢 Age		国籍 Nationality		在留資格 Resident Status	

		学校名所在地 Name and Address of School	正規の修学年数 Officially required number of years of schooling	入学及び卒業年月 Year and Month of Entrance and Completion	修業年数 Period of schooling	専攻科目 Major subject if any	学位・資格 Diploma or Degree awarded
初等教育 Elementary Education 小学校 Elementary School		学校名 Name 所在地 Location	年 yrs	入学 from ～ 卒業 to	年 yrs		
中等教育 Secondary Education 中学及び高校 Secondary School	中学 Lower	学校名 Name 所在地 Location	年 yrs	入学 from ～ 卒業 to	年 yrs		
	高校 Upper	学校名 Name 所在地 Location	年 yrs	入学 from ～ 卒業 to	年 yrs		
高等教育 Higher Education 大学 Undergraduate Level		学校名 Name 所在地 Location	年 yrs	入学 from ～ 卒業 to	年 yrs		
大学院 Graduate Level		学校名 Name 所在地 Location	年 yrs	入学 from ～ 卒業 to	年 yrs		
以上を通算した全学校教育修学年数 Total			年 yrs	Total			

研究歴 Research Activities	研究機関名 Name of Research Institution	所在地 Address	研究期間 Duration of research	年数 yrs
			～	
職歴 Employment Record	勤務先名 Name of Organization	所在地 Address	勤務期間 Period of employment	年数 yrs
			～	
日本語の学習歴 Japanese Language Education	教育機関名 Name of Educational Institution	所在地 Address	履修期間 Period of study	年数 yrs
			～	

記入は，日本語又はローマ字体を用いること。（Please type or print in Japanese or English）

＊出願資格(8)・(9)
該当者のみ記入

2020年度千葉大学大学院教育学研究科
入学試験出願資格認定申請書

受験番号	※

千葉大学大学院教育学研究科長　殿

私は貴研究科（専門職学位課程）入学試験に出願を希望します。

ついては，出願資格の認定を受けたいので，所定の書類を添えて申請いたします。

西暦　　年　　月　　日

ふりがな

氏　名　　㊞　　男・女

西暦　　年　　月　　日生

志望専攻	高度教職実践専攻			
現住所 （必ず連絡のとれる住所等を記入）	〒 (e-mail　　)（携帯等　　－　　－　　） (TEL　　－　　－　　)			
出身大学・学部 （最終出身学校）	西暦　　年　　月			3年次修了見込 15年修了 卒業 修了
本人以外の連絡先 （現住所と同じ場合は「同上」と記入）	ふりがな		続柄	
	氏名			
	〒 (TEL　　－　　－　　) (携帯等　　－　　－　　)			

※印欄は記入しないこと。

＊出願資格(9)
該当者のみ記入

学習歴及び実務経験等に関する調書

受験番号	※

千葉大学大学院教育学研究科

氏　　名		志望専攻	高度教職実践専攻

学 習 歴（学歴）　（義務教育終了後から記入してください。）
（外国人学校の卒業者は，高等課程から記入してください。）

期　　間	学　校　名　等	卒業等の別
年　月　日から 年　月　日まで		卒業 修了 （　　）
年　月　日から 年　月　日まで		卒業 修了 （　　）
年　月　日から 年　月　日まで		卒業 修了 （　　）
年　月　日から 年　月　日まで		卒業 修了 （　　）
年　月　日から 年　月　日まで		卒業 修了 （　　）
年　月　日から 年　月　日まで		卒業 修了 （　　）
年　月　日から 年　月　日まで		卒業 修了 （　　）

実務経験歴（職歴を含む）　（志望専攻との関わりがわかるように詳細に記入してください。）
（在職証明書等，職種・勤務形態の分かる書類を添付してください。）

期　　間	勤　務　先　名　等	職　　種	勤　務　形　態
年　月　日から 年　月　日まで			週（　）日 週のべ（　）時間勤務
年　月　日から 年　月　日まで			週（　）日 週のべ（　）時間勤務
年　月　日から 年　月　日まで			週（　）日 週のべ（　）時間勤務
年　月　日から 年　月　日まで			週（　）日 週のべ（　）時間勤務
年　月　日から 年　月　日まで			週（　）日 週のべ（　）時間勤務
年　月　日から 年　月　日まで			週（　）日 週のべ（　）時間勤務
年　月　日から 年　月　日まで			週（　）日 週のべ（　）時間勤務
年　月　日から 年　月　日まで			週（　）日 週のべ（　）時間勤務
年　月　日から 年　月　日まで			週（　）日 週のべ（　）時間勤務
年　月　日から 年　月　日まで			週（　）日 週のべ（　）時間勤務
年　月　日から 年　月　日まで			週（　）日 週のべ（　）時間勤務

※印欄は記入しないこと。

取得した資格・免許（取得した免許や資格がある場合は，記入してください。）	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
社会的活動歴（ボランティア・国際協力事業への参加等の経験がある場合は，記入してください。）	
年　月　日から 年　月　日まで	
年　月　日から 年　月　日まで	
年　月　日から 年　月　日まで	
年　月　日から 年　月　日まで	
年　月　日から 年　月　日まで	
研究活動歴（研究活動経験がある場合は，記入してください。）	
年　月　日から 年　月　日まで	
年　月　日から 年　月　日まで	
年　月　日から 年　月　日まで	
年　月　日から 年　月　日まで	
年　月　日から 年　月　日まで	
志望の動機	

上記のとおり相違ありません。

西暦　　年　　月　　日

氏　名　　印

郵便切手
92 円 を
はること

千葉大学大学院教育学研究科受験票等在中

（住所）

（氏名）

殿

千　葉　大　学
教育学部入試担当
〒263-8522
千葉市稲毛区弥生町１番33号
教育学部１号館１階
電話　043（290）2515

※

宛名シール

受験番号※	

〒 □□□-□□□□

（受信場所）

（氏名） 殿

宛名シール

受験番号※	

〒 □□□-□□□□

（受信場所）

（氏名） 殿

案　内　図



<道順>
・JR総武線秋葉原駅からJR西千葉駅まで約50分
・JR総武線西千葉駅下車　北口から徒歩10分
（西千葉駅には，特急・快速電車は停車しない。）
・京成千葉線みどり台駅下車　徒歩8分

❶ 事務局
❷ 総合安全衛生管理機構
❸ 国際教育センター
❹ 統合情報センター
❺ アイソトープ実験施設
❻ 総合校舎、全学教育センター、国際教養学部
❼ 産学連携・知的財産機構
❽ 環境リモートセンシング研究センター
❾ ベンチャービジネスラボラトリー、マルチキャリアセンター
❿ 附属図書館、アカデミック・リンク・センター
⓫ 文学部・法政経学部
⓬ 教育学部・教育学研究科
⓭ 理学部
⓮ 先進科学センター、理学系総合研究棟
⓯ 工学部
⓰ 工学系総合研究棟１
⓱ 人文社会科学系総合研究棟
⓲ 自然科学系総合研究棟１
⓳ 自然科学系総合研究棟２
⓴ 附属幼稚園
㉑ 附属小学校
㉒ 附属中学校
㉓ けやき会館
㉔ 体育施設
㉕ 正門
㉖ 南門
㉗ 北門
㉘ 総合学生支援センター
㉙ 大学会館
㉚ フロンティア医工学センター
㉛ 共用機器センター
㉜ ゲストハウス、やよい保育園
㉝ サイエンスパークセンター
㉞ 千葉大学・上海交通大学国際共同研究センター